

はじめに



千葉市は、明治6年の廃藩置県を契機に、県都として近代都市の歩みを始め、大正10年の市政施行、戦後の高度成長期の人口急増、平成4年の政令指定都市移行を経て、今日に至るまで、着実な発展を続け、今や国内有数の大都市へと成長しました。

しかしながら、都市の魅力やイメージといった面においては、市内外に十分認識されておらず、また、地方分権改革の進展などにより、都市間競争が一段と厳しさを増す中において、本市が持続的に発展するためには、他都市との差別化が図れるような、個性豊かで魅力ある都市としてのイメージの向上が求められております。

そこで、この度、市民の皆様が愛着と誇りをもち、市外の方々にも、「訪れて楽しい」「住んでみたい」と感じていただけるようなまちづくりを進めるため、千葉市シティセールス戦略プラン」を策定しました。

本プランは、「個性ある資源を活かした都市イメージの向上による千葉市ブランドの確立」を基本理念に、メディアの活用などによるプロモーション戦略と、「花・緑・水辺」「ホームタウン」「フィルムコミッション」の3つの重点プロジェクトを定め、産業・観光・文化・スポーツなどの各分野において、情報発信や魅力ある資源の発掘のための各種施策を積極的に推進することとしております。

今後は、本プランに基づき、市民の皆様をはじめ、民間事業者や関係団体の方々との連携・協働のもと、魅力あふれる千葉市づくりのため、全力で取り組んで参りますので、市民の皆様には、一層のご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

おわりに、本プランの策定にあたり、貴重なご意見をいただきました、千葉市シティセールス戦略プラン懇話会委員の皆様をはじめ、関係各位に厚くお礼を申し上げます。

平成19年10月

千葉市長 鶴岡 啓一